

5949

ユニプレス



専務執行役員 伊藤 芳雄 氏



～ グローバルNO.1を目指す自動車用プレス部品メーカー ～

ユニプレスとは

- **自動車用プレス部品の国内最大手**
 - ・1998年山川工業・大和工業の合併により発足
 - ・車体プレス製品、トランスミッション用製品、樹脂プレス製品を生産、大手自動車メーカーに供給
 - ・売上構成比は、車体プレス製品85%、トランスミッション用製品13%、樹脂プレス製品1%
- **製品の特長**
 - ・車体プレス製品：衝突安全性や燃費向上のための軽量化を支える重要な骨格部品等
 - ・トランスミッション用プレス製品：ミクロン単位の精密さと強度が求められる部品
 - ・樹脂プレス製品：独自プレス工法で軽量、低コストな部品
- **2017年3月期業績**
 - ・売上高 : 3,212億円
 - ・営業利益 : 230億円

中期経営戦略

- **経営理念「プレスを究めて、プレスを越える」**
 - ・市場ニーズを先取りした研究開発型企業
 - ・競争力No.1を維持するコスト開発型企業
 - ・自動車産業の構造変化に対応したグローバル戦略型企業、を目指す
- **経営の重要な4つの課題と取り組み**
 1. グローバル展開と生産基盤の強化
 2. 製品・素材・工法の革新
 3. 業界トップレベルの競争力
 4. グローバルマネジメントの強化
- **2017年度過去最高益を計画**
 - ・売上高 : 3,250億円
 - ・営業利益 : 250億円
- **中期経営目標(2017年5月現在)**
 - ・2019年度：売上高3,250億円、営業利益260億円

強みと成長戦略

- **高い技術力**
 - ・EV化、自動運転等、転換期を迎える自動車産業において、航続距離伸長のために求められる車体の軽量化に対応した技術を開発
 - ・高強度と軽量化の両立を実現する冷間プレスによるハイテン材成形技術、ホットスタンプ工法
- **国内外の自動車メーカーへのグローバル拡販**
 - ・日産をはじめ、ホンダ、トヨタ、マツダ、SUBARU、三菱等、メーカー別戦略でグローバルに拡販
 - ・軽量化技術とバッテリーケースの生産実績を活かし、今後増えるEV車種の部品受注を狙う
- **米州・欧州・アジア3極に広がるグローバル展開**
 - ・海外生産拠点数が、2002年の3ヶ国3拠点から2019年には9ヶ国16拠点と約5倍に拡大
 - ・2002年に約3割だった海外売上比率が2016年度には約7割まで拡大

株主還元への取り組み

- **配当**
 - ・2016年度は1株あたり45円の配当を実施し、2期連続の増配
 - ・2017年度は1株あたり45円の配当を計画
- **ポイント制 株主優待サービス**
 - ・ポイントに応じて、オリジナルカタログ掲載の、90種類以上のバラエティ豊かな商品から選択可能
 - ・長期保有に応じてポイントが増加する長期保有優遇の株主優待制度を継続実施
 - ・3月末現在の株主名簿に記載された株主様が対象保有株式数に応じて以下のポイントを付与

	1年未満	1年以上	3年以上
100株以上	1,000pt	2,000pt	3,000pt
1,000株以上	2,000pt	3,000pt	4,000pt
3,000株以上	3,000pt	4,000pt	5,000pt